SAS Technical News

Winter 2008

CONTENTS

1 特集1　新しいインストールセンターのご紹介

9 特集2　日本語対応サーチボックスのご紹介

10 Q&A

12 SASトレーニングのお知らせ

15 新刊マニュアルのお知らせ

15 最新リリース情報

16 SAS Technical News送付についてのご案内

特集1

新しいインストールセンターのご紹介

1. はじめに

以前ご紹介したインストールセンターを2007年11月にリニューアルしました。今回の特集では、「SAS Technical News Spring 2007」のインストールセンターの記事を今回の変更に合わせて改訂し、皆様にインストールセンターをよりご利用いただけるよう、それぞれの場面に合わせた活用法をご紹介します。

2. インストールセンター概要

インストールセンターとはどのようなWebサイトなのか、最新のスクリーンショットを交えて、ここで簡単にご紹介します。

2.1 インストールセンターとは?

インストールセンターは、SAS®9のインストールをサポートするためのWebサイトです。ここには、SAS®のインストール、管理および設定に必要なドキュメントが用意されています。インストールセンターに掲載しているドキュメントは、常に最新のものを用意しており、更新された情報を入手することができます。また、管理者用ドキュメントやサードパーティソフトウェアに関する情報なども提供しています。

インストールセンターのURL

http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter/index.html

インストールセンターのインデックスページ

2.2 インストールセンターの3つの要素

インストールセンターは、大きく分けて3つの要素から成り立っています。インストールドキュメント、インテリジェンスプラットフォーム管理、そしてサードパーティソフトウェアリファレンスの3つのページです。参照したい情報によって、下記のページを使い分けてください。

●インストールドキュメントページ

この特集では、インストールセンターのインデックスページにある［SAS® 9.1.3（TS1M3）］というリンクをクリックして表示される「SAS 9.1.3 ドキュメント」のページを「インストールドキュメント」ページと表記しています。このページでは、インストールや設定などに使用するさまざまなドキュメントを掲載しており、エンドユーザー、管理者などSASを利用されるすべての方に活用していただけます。オペレーティングシステム別、プロダクト別、インストールキット別にインストールドキュメントを分けたページを用意しましたので、必要な情報によって、ページを使い分けてください。なお、今回からシステム必要条件のみ別ページにまとめました。こちらを参照するには、左側のナビゲーションから［システム必要条件］のリンクをクリックしてください。このページについては、次の「3. ここが便利!今回の変更点」でご紹介しています。

●インテリジェンスプラットフォーム管理ページ

管理者向けの各種ドキュメントを掲載しています。SAS®9インテリジェンスプラットフォームの詳細を記載したドキュメントもあります。おもにSAS環境の管理者の方に向けた情報のページです。このページに掲載されているドキュメントはほとんどが英語版となっています。インストールセンターのインデックスページの左側のナビゲーションにある［インテリジェンスプラットフォーム管理］のリンクから参照することができます。

●サードパーティソフトウェアリファレンスページ

こちらには、SAS 9.1.3で使用するさまざまなサードパーティソフトウェアに関する情報を掲載しています。サードパーティソフトウェアとは、他社からSASに提供されているソフトウェアのことです。SAS® Add-in for Microsoft Office、SAS® Web Report StudioなどのJava系のプロダクト、その他ソリューションなどを使用する際に用いられる、Java（JRE、JDK）、アプリケーションサーバー（たとえばWebLogic、WebSphere）、WebDAVサーバー（たとえばXythos WFS、Apache HTTP Server）などに関する情報は、こちらを参照してください。インストールセンターのインデックスページの左側のナビゲーションにある［サードパーティソフトウェアリファレンス］のリンクから参照することができます。

3. ここが便利!今回の変更点

今回から、『システム必要条件』、『使用上の注意点』などの基本的なドキュメントを参照したいときに便利なページが2つ追加されました。

3.1 システム必要条件のページ

『システム必要条件』は、これからシステムの導入を検討されている方やインストールを実行する方を対象としています。現在の環境で導入できるのか、もしくは新たに資産を追加する必要があるのかを判断したり、OSのアップデートが必要なのかを確認したりするためのドキュメントです。システム必要条件を参照する場合は、新たに追加されたシステム必要条件のみをまとめたこちらのページが便利です。参照するには、インストールセンターの左側のナビゲーションの一番上にある、［システム必要条件］をクリックし、さらに［現在のリリース］の項目の下にある［SAS 9.1.3（TS1M3）］のリンクをクリックします。

システム必要条件のページ

3.2 オペレーティングシステム別ドキュメントのページ

こちらのページもシステムの導入を検討されている方やインストールを実行する方のためのページです。参照したいドキュメントが、『使用上の注意点』、『システム必要条件』（システム必要条件のページへのリンクになっています）、『インストールガイド』、『設定ガイド』、『ソフトウェアの更新手順』のいずれかである場合、これらのドキュメントをオペレーティングシステム（以下OSと表記）の種類別に掲載している、「オペレーティングシステム別ドキュメント」ページが便利です。このページを参照するには、インストールセンターインデックスページの左側のナビゲーションの［インストールセンター］の下の［SAS 9.1.3］を選択し、さらに、その下の［オペレーティングシステム別］を選択します。

オペレーティングシステム別ドキュメントのページ

ワンポイント

今回からインストールセンターのページをWebブラウザのブックマークに加えたり、印刷したりするためのボタンが追加されました。各ページ右上に［印刷］と［ブックマーク］のボタンがあります。こちらの機能もぜひご活用ください。

印刷ボタンとブックマークボタン

4.「インストールドキュメント」ページの活用法

次にインストールセンターの中心となる、「インストールドキュメント」ページの活用法についてご説明します。このページは、SAS®9への移行を検討されているお客様の情報収集用として、SAS®9のインストールを実行されるお客様の必要なドキュメントを集めた資料集として、また、現在SAS®9を利用されているお客様が最新の「使用上の注意点」などを確認する場としてなど、さまざまな用途で活用していただけます。まず、インストールセンターのインデックスページの中央にある、［SAS 9.1.3（TS1M3）］というリンクをクリックして「SAS 9.1.3 ドキュメント」のページを開きます。

SAS 9.1.3 ドキュメントのページ

この先は、オペレーティングシステム別、プロダクト別、インストールキット別にインストールドキュメントをまとめたページの3つに分かれます。どのようなインストールをするか（現在利用しているか）によって参照するページが異なりますので、ご注意ください。なお、オペレーティングシステム別ページについては、「3. ここが便利!今回の変更点」、プロダクト別ページについては、「4.3 個別プロダクトの情報を参照する場合」を参照してください。

4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用

SAS®9のシステムの基本機能（SAS® Foundation：Base SAS®、SAS/STAT®、SAS/GRAPH® など）を利用予定の方（利用されている方）は、［標準インストールキット］のページを利用します。このページを参照するには、SAS 9.1.3 ドキュメントのページで［インストールキットの種類別ドキュメント］を選択し、さらに［標準インストールキット］を選択します。

◎SAS®9の基本機能の導入を検討している場合

ここで参照するドキュメント

- 『システム必要条件』
- 『使用上の注意点』
- 『クイックスタートガイド』
- 『インストールガイド』もしくは、『ユーザーインストールガイド』
- 『管理者ガイド』（※Windows系プラットフォームのみ）
- 『設定ガイド』

① システム必要条件、使用上の注意点の確認

これから導入を検討されている場合は、はじめに必要条件を確認することで、現在の環境で導入できるのか、もしくは新たに資産を追加する必要があるのかを判断したり、OSのアップデートが必要なのかを確認したりすることができます。事前に必要条件を調べておくことは重要です。このような情報を確認するには、［インストールの事前準備］の項目にある、「SAS 9.1.3 Foundationシステム必要条件」のリンクをクリックしてください。システム必要条件のページが表示されます。そこから、『○○版システム必要条件』（○○には、Windows、AIXなどのOS名が入ります）というドキュメントを確認します。また、プロダクトを使用するうえでの注意点や現在報告されている問題点などを導入前に確認しておくことで、事前にそれらの問題への対応を検討することができます。これらの情報を入手するには、［インストールの事前準備］の項目の2番目に一覧表示されている、『○○版使用上の注意点』（○○には、Windows、AIXなどのOS名が入ります）というドキュメントを確認します。

標準インストールキットのページ

『システム必要条件』
サポートしているOSとそのバージョン、ハードウェアの必要条件、必要なディスク容量、プロダクトごとの必要条件、グラフィックハードウェアおよび、ソフトウェアの互換性などの情報を記載しています。たとえば、OSの、どのバージョンがサポートされているか、どのようなプロセッサがサポート対象であるかなどを確認することができます。

『使用上の注意点』
現在報告されている、インストールや一般の環境における問題点を記載しています。最新の情報は、米国SAS社の検索ページから参照できます。このサイトへのリンクも［インストールの事前準備］の項目に用意されていますので、ご活用ください。

② インストールの大まかな流れを確認する

使用予定の環境が確認できたら、インストールの大まかな作業の流れを確認してみましょう。インストールの流れを確認するには、［クイックスタートガイド］の項目にある、それぞれのオペレーティングシステムに適した『クイックスタートガイド』を参照します。

『クイックスタートガイド』
インストールの手順をもっとも簡潔に示したドキュメントです。このドキュメントを参照することで、大まかな流れをつかむことができます。詳細な手順は、『インストールガイド』を参照します。

③ インストールの詳細な手順を確認する

インストールの詳細な手順を確認するには、［インストール］の項目にある、『インストールガイド』（UNIX版）もしくは、『ユーザーインストールガイド』（Windows、64-bit Windows（Itanium）版）を参照します。

標準インストールキットのページ：［インストール］の項目

『UNIX版 SAS 9.1.3 Foundationインストールガイド』
UNIX版のSAS 9.1.3 Foundationのインストールの手順を記載したドキュメントです。インストール前の確認から順を追って、インストール手順が詳細に説明されています。コマンドなどは、各OS別の説明もあります。

『Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundationユーザーインストールガイド』および『64-bit Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundationユーザーインストールガイド』
それぞれWindows版および64-bit Windows版のSAS 9.1.3 Foundationのエンドユーザー向けのインストール手順を記載したドキュメントです。インストール前の確認から順を追って、インストール手順が説明されています。

『管理者ガイド』は、Windows版、64-bit Windows（Itanium）版の環境にのみ用意されているドキュメントです。こちらは、SAS環境の管理者の方のためのドキュメントで、SAS Foundationのインストールで使用するツールやインストール方法、SAS Foundationのコンポーネントに関する解説などを記載したドキュメントです。たとえば、一度に複数台のマシンのインストールを行なう方法などが説明されています。OS別に次のドキュメントが用意されています。必要に応じて、こちらも参照してください。

・『Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation管理者ガイド』
・『64-bit Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation管理者ガイド』

④ インストール後の設定方法を確認する
インストール後に必要な設定の手順は、［設定］の項目にある『SAS 9.1.3 Foundation設定ガイド』を参照します。

標準インストールキットのページ：［設定］の項目

このドキュメントを参照し、使用するプロダクトで必要な設定を確認してください。

『設定ガイド』
SAS Foundationに含まれるさまざまなプロダクトの設定方法が記載されています。たとえば、SAS/ACCESS® Interface to DB2の共有ライブラリのパスの追加方法の説明、SAS® Enterprise Minerの設定方法などが記載されています。

日本語のドキュメントは、UNIX版、Windows版、64-bit Windows（Itanium）版の3種類が用意されていますので、ご使用のプラットフォームに合わせたものを参照してください。

・『UNIX版 SAS 9.1.3 Foundation設定ガイド』
・『Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation設定ガイド』
・『64-bit Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation設定ガイド』

◎SAS®9の基本機能のインストール（標準インストール）を実行する場合

SAS®9の標準インストールを実行する場合は、基本的には、お手元のインストールキットに含まれるドキュメントを参照してください。お手元のインストールキットに含まれるものが、これからインストールに使用するインストールCDのバージョンに適したドキュメントです。SAS®9のインストールメディアは、随時更新されており、ドキュメントもそれに合わせて変更されています。インストールセンターには、お手元のインストールCDよりも新しいCDに対応したドキュメントを掲載していることがありますので、ご注意ください。

ワンポイント

・特に『システム必要条件』、『インストールガイド』に関しては、お手元のものを参照することをおすすめします。
・『使用上の注意点』については、インストールセンターに掲載している最新のものを参照されることをおすすめします。『使用上の注意点』は、標準インストールキットのページの［インストール］の項目、もしくはインストールセンターのオペレーティングシステム別ドキュメントページから参照できます。

なお、お届けしているインストールキットでは、下記の形式でドキュメントを用意しています。

●電子ファイル（PDF）のドキュメント
インストールキットの箱のふたの裏に［Documentation for Installing and Configuring SAS］というCD-ROMを同梱しています。これを起動すると、まず自動実行で「Documentation for Installing and Configuring SAS」という英語のページが開きます。そのページの右上部にある［Japanese］というリンクをクリックして、日本語版の「SASのインストールと設定のためのドキュメント」というページを表示します。そのページから、［標準インストールキット］のリンクをクリックすると必要なドキュメントを参照できます。この「SASのインストールと設定のためのドキュメント」は、基本的にインストールセンターと同じ構造になっています。しかし、管理者用ドキュメントおよびサードパーティソフトウェアリファレンスは含まれていないので、ご注意ください。

SASのインストールと設定のためのドキュメント

●印刷したドキュメント
下記の印刷したドキュメントは、インストールキットに含まれるGetting Startedフォルダ（紙製のフォルダ）に含まれています。『クイックスタートガイド』およびほとんどの『ロードマップ』は、［Documentation for Installing and Configuring SAS］CDからも参照できます。

・『クイックスタートガイド』
・『メディアガイド』
・『ロードマップ』
・SAS Order Information

◎すでにSAS®9の基本機能をご利用いただいている場合

すでにSAS®9の基本機能をご利用いただいている場合も、インストールセンターは活用していただけます。たとえば、**最新の使用上の注意点を確認する場合**や、**ライセンスを更新する場合**、そして**新しいService Packを適用する場合**などです。

① 最新の使用上の注意点を確認する

インストールセンターには、常に最新のドキュメントが掲載されていますので、更新された情報を確認することができます。**SASをインストールした後に追加された使用上の注意点を確認する場合**は、[標準インストールキット] の [インストールの事前準備] の項目の一番初めにある、『**使用上の注意点**』を参照します。使用上の注意点は、米国SAS社の検索ページから最新のものを参照できます。このサイトへのリンクも日本語版インストールセンターの [標準インストールキット] の [インストールの事前準備] の項目に用意されていますので、ご活用ください。

② ライセンスの更新手順を確認する

SASのライセンスの期限が近づき、**ライセンスを更新する必要が出てきた場合**は、[標準インストールキット] の [サービスおよびサポート] の項目の2番目に用意されている、『**ソフトウェアの更新**』というドキュメントを参照します。

標準インストールキットのページ：[サービスおよびサポート] の項目

このドキュメントには、SASインストールデータを適用してSASライセンス情報を更新する手順が記載されています。UNIX版、Windows版、64-bit Windows（Itanium）版の3種類が用意されていますので、使用しているプラットフォームに合ったものを参照してください。タイトルがプラットフォームによって多少異なりますので、ご注意ください。

- 『**UNIX環境におけるソフトウェアの更新手順**』
- 『**Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundationの更新**』
- 『**64-bit Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundationの更新**』

③ Service Pack適用に関する情報を確認する

ご利用になっている**SAS®9の環境にService Packを適用する場合**は、インストールセンターの [標準インストールキット] ページの [SAS 9.1.3 Service Pack] という項目にある、Service Packに関するドキュメントを参照します。Service Pack用のドキュメントには、次の3種類があります。用途に応じて適切なドキュメントを参照してください。

『**SAS 9.1.3 Service Pack　対処された問題**』
Service Packで対処されている問題を確認するための方法が記載されています。

『**SAS 9.1.3 Service Pack　インストール手順**』
Service Packのインストール手順が記載されています。

『**SAS 9.1.3 Service Pack　構成手順**』
Service Packインストール後の設定手順について記載されています。

4.2 SASインテリジェンスプラットフォームを利用する場合：プランインストールキットの活用

SASインテリジェンスプラットフォームをご利用予定の場合（ご利用されている場合）は、[プランインストールキット] のページを利用します。**SAS® BI Server、Intelligence Storage、SAS® Data Integration Serverなどをご利用の場合**は、こちらです。SAS 9.1.3 ドキュメントのページで [インストールキットの種類別ドキュメント] を選択し、さらに [プランインストールキット] を選択します。

◎SASインテリジェンスプラットフォームの導入を検討している場合

ここで参照するドキュメント

- 『**システム必要条件**』
- 『**使用上の注意点**』
- 『**クイックスタートガイド**』
- 『**事前準備のためのチェックリスト**』
- 『**インストールガイド**』もしくは、『**ユーザーインストールガイド**』
- 『**管理者ガイド**』（※**Windows系プラットフォームのみ**）
- 『**設定ガイド**』
- 『**SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Installation Guide**』など

① システム必要条件、使用上の注意点の確認

標準インストールの場合と同様に、**システム必要条件を確認**するには、[プランインストールキット] の [インストールの事前準備] の項目にある、『**○○版システム必要条件**』（○○には、Windows、AIXなどのOS名が入ります）というドキュメントを確認します。また、事前に**使用上の注意点や問題点を確認する**には、[プランインストールキット] の [インストールの事前準備] の項目にある、『**○○版使用上の注意点**』というドキュメントを確認します。『システム必要条件』および『使用上の注意点』の内容に関する説明は、この記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「SAS®9の基本機能の導入を検討している場合」にある「① システム必要条件、使用上の注意点の確認」を参照してください。

プランインストールキットのページ

② インストールの大まかな流れを確認する

インストールの大まかな流れを確認するには、[プランインストールキット] の [クイックスタートガイド] の項目にあるそれぞれのオペレーティングシステムに適した『**クイックスタートガイド**』を参照します。クイックスタートガイドについては、この記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「SAS®9の基本機能の導入を検討している場合」にある「② インストールの大まかな流れを確認する」を参照してください。

③ 事前準備のためのチェックリストを参照する

次に、[プランインストールキット] の [インストールの事前準備] の項目にある『**SAS 9.1.3 インテリジェンスプラットフォーム 事前準備のためのチェックリスト**』を参照してみましょう。このドキュメントは、インストール時に必要になる情報を事前に確認し、記録しておくためのものです。インストール前にこのチェックリストに必要事項（たとえば、管理者ユーザーのID、利用するマシン名など）を記入しておくことで、インストール作業を正確かつ円滑に進めることができます。このチェックリストの使い方については、[インストール] の項目にある『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Installation Guide』（英語のドキュメント）に記載されています。そちらのドキュメントも合わせて参照してください。

④ インストール手順を参照する

インストールの際には、標準インストールのときと同じドキュメントと、『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Installation Guide』（英語のドキュメント）を使用します。『インストールガイド』（UNIX版）もしくは、『ユーザーインストールガイド』（Windows、64-bit Windows（Itanium版））および『管理者ガイド』（Windows、64-bit Windows（Itanium版））は、[プランインストールキット] の [インストール] の項目に用意されています。『インストールガイド』、『ユーザーインストールガイド』および『管理者ガイド』の内容については、この記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「SAS®9の基本機能の導入を検討している場合」にある「③ インストールの詳細な手順を確認する」を参照してください。『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Installation Guide』は、SASインテリジェンスプラットフォームを利用する場合のインストール手順について記載しています。このドキュメントも、[インストール] の項目にあります。

⑤ インストール後の設定方法を参照する

インストール後に必要な設定の手順は、標準インストールのときと同じものと、『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Installation Guide』、『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: System Administration Guide』（英語のドキュメント）などで確認することができます。『SAS 9.1.3 Foundation設定ガイド』および『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Installation Guide』は、[プランインストールキット] の [設定] の項目に用意されています。このドキュメントを参照し、使用するプロダクトで必要な設定を確認します。

プランインストールキットのページ：[設定] の項目

『設定ガイド』の内容に関する説明は、この記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「SAS®9の基本機能の導入を検討している場合」にある「④インストール後の設定方法を確認する」を参照してください。プランインストールでは、『設定ガイド』以外に、設定するプロダクトなどによって『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: System Administration Guide』、『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Application Server Administration Guide』などのドキュメントを参照します。これらのドキュメントは、「インテリジェンスプラットフォーム管理」ページにあります。インテリジェンスプラットフォーム管理ページについては、後ほど「5.「インテリジェンスプラットフォーム管理」ページの活用法」でご紹介します。

◎SASインテリジェンスプラットフォームのインストール（プランインストール）を実行する場合

プランインストールを実行する場合は、標準インストールのときと同様に、基本的には、お手元のインストールキットに含まれるドキュメントを参照してください。お届けしているインストールキットでは、下記の形式でドキュメントを用意しています。

●電子ファイル（PDF）のドキュメント

標準インストールで説明しましたが、PDFドキュメントが参照できるSASのインストールと設定のためのドキュメント」というウィンドウを表示するには、[**Documentation for Installing and Configuring SAS**] というCD-ROMを起動します。次に、表示される「Documentation for Installing and Configuring SAS」（英語版ページ）から、右上にある [Japanese] のリンクをクリックします。[プランインストールキット] のページを開くと必要なドキュメントを参照できます。このページは、基本的にインストールセンターと同じ構造になっています。

●印刷したドキュメント

印刷したドキュメントは、インストールキットに含まれる紙のフォルダに含まれています。『クイックスタートガイド』および『ロードマップ』のほとんどは、[Documentation for Installing and Configuring SAS] CDにもPDF形式で用意しています。

- 『**クイックスタートガイド**』
- 『**メディアガイド**』
- 『**ロードマップ**』
- **SAS Order Information**

お手元のインストールキットのドキュメントの利用を推奨する理由などはこの記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「SAS®9の基本機能のインストール（標準インストール）を実行する場合」を参照してください。なお、プランインストールでは、次の点にも注意が必要です。

ワンポイント

『**SAS Intelligence Platform: Installation Guide**』などの管理者用ドキュメントについては、[Documentation for Installing and Configuring SAS] CDには含まれていません。インストールセンターから参照してください。

◎すでにSASインテリジェンスプラットフォームをご利用いただいている場合

すでにSASインテリジェンスプラットフォームをご利用いただいている場合の利用方法についても、基本的に標準インストールのときと同じです。

① 最新の使用上の注意点を確認する

SASをインストールした後に追加された使用上の注意点を確認する場合は、[インストールの事前準備] の項目の2番目にある、『使用上の注意点』を参照します。このドキュメントに記載されていない注意点については、米国SAS社の検索ページから参照できます。このサイトへのリンクも [プランインストールキット] の [インストールの事前準備] の項目に用意されていますので、ご活用ください。

② ライセンスの更新手順を確認する

SASのライセンスを更新する必要が出てきた場合は、[プランインストールキット] の [サービスおよびサポート] に用意されている、『Microsoft

Windows版（64-bit Microsoft Windows（Itanium）版）SAS 9.1.3 Foundationの更新』もしくは『UNIX環境におけるソフトウェアの更新手順』というというドキュメントを参照します。このドキュメントの説明は、この記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「すでにSAS®9の基本機能をご利用いただいている場合」にある「②ライセンスの更新手順を確認する」を参照してください。

③ Service Packの適用に関する情報を確認する

ご利用になっているSAS®9の環境にService Packを適用する場合の情報は、まず、標準インストールと同様に、［プランインストールキット］ページの［SAS 9.1.3 Service Pack］という項目にある、Service Packに関するドキュメントを参照します。Service Packに関するドキュメントの詳細は、この記事の「4.1 SAS®9の基本機能を利用する場合：標準インストールキットの活用」の「すでにSAS®9の基本機能をご利用いただいている場合」にある「③Service Pack適用に関する情報を確認する」を参照してください。また、ご利用の環境によっては、Service Pack適用によってサードパーティソフトウェアの必要条件が変更になる場合もあります。これらの情報を確認するには、「サードパーティソフトウェアリファレンス」ページを利用します。このページに関する詳細は、後ほど「6.「サードパーティソフトウェアリファレンス」ページの活用法」でご紹介します。

4.3 個別プロダクトの情報を参照する場合：プロダクト別ドキュメントのページの活用

プロダクト別ドキュメントのページ

プロダクト別ドキュメントのページには、SAS® Campaign ManagementなどSAS 9.1.3に含まれているソリューション／プロダクトのドキュメント（ロードマップ、インストールガイドなど）を掲載しています。このページにドキュメントを掲載しているソリューション／プロダクトには、次のようなものがあります。

- **SAS/ACCESS® Interface to R/3**
- **SAS BI Server**
- **SAS Campaign Management**
- **SAS® Enterprise Guide**

5.「インテリジェンスプラットフォーム管理」ページの活用法

「インテリジェンスプラットフォーム管理」ページは、SASインテリジェンスプラットフォームを利用する場合に管理者の方が利用できるドキュメントを集めたページです。プランインストールを実行する際のインストール手順、設定方法を参照するときなどに活用できます。

インテリジェンスプラットフォーム管理のページ

インテリジェンスプラットフォーム管理ページを参照するには、インストールセンターの左側のナビゲーションから「インテリジェンスプラットフォーム管理」というリンクをクリックします。インテリジェンスプラットフォーム管理ページは、このインデックスページと「SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォームにおける変更点」、「SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォーム：これまでのバージョン」の3つのページで構成されています。

5.1 インデックスページ

インデックスページには、プランインストールを実行する際に活用できる、さまざまなドキュメントへのリンクが用意されています。ここに掲載されているドキュメントには、たとえば、次のようなものがあります。

『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Overview』
SAS®9インテリジェンスプラットフォームのアーキテクチャや、各ソフトウェアコンポーネントについて記載しています。インデックスページの［SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォーム］の項目にリンクがあります。

『SAS Intelligence Platform: Installation Guide』
SASインテリジェンスプラットフォームのインストール手順を記載したドキュメントです。インデックスページの［インストール］の項目にリンクがあります。

『SAS 9.1.3 Intelligence Platform: Application Server Administration Guide』
SASアプリケーションサーバーとWorkspace Server、Stored Process Server、OLAP Server、Grid Serverなどのコンポーネントの設定と管理の方法について記載したドキュメントです。インデックスページの［管理］の項目にリンクがあります。

5.2 SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォームにおける変更点のページ

管理者用のドキュメントの変更点を時系列に記載したのが、このページです。変更された箇所がないかを確認するには、こちらを参照してください。このページを参照するには、インデックスページの［SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォーム］の項目にある［SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォームにおける変更点］の右側の［HTML］と書かれたリンクをクリックしてください。

SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォームにおける変更点のページ

5.3 SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォーム：これまでのバージョンのページ

このページには、Service Pack 4以前のSAS 9.1.3（Service Pack 2、Service Pack3など）に対応した管理者用ドキュメントを掲載しています。Service Pack 4以前の管理者用ドキュメントを参照するには、こちらのページをご活用ください。このページを参照するには、インデックスページの上部にある［SAS 9.1.3インテリジェンスプラットフォーム：これまでのバージョン］のリンクをクリックしてください。

6.「サードパーティソフトウェアリファレンス」ページの活用法

サードパーティソフトウェアリファレンスページは、SASインテリジェンスプラットフォームを利用する場合に必要となるサードパーティソフトウェアの情報と、それらのダウンロードのためのリンクを集めたページです。プランインストールを実行する際に必要なサードパーティソフトウェアをダウンロードするために活用できます。サードパーティソフトウェアリファレンスページは、各Service Packごとに用意されています。このページを参照するには、次のようにリンクを開きます。

① 「インストールセンター」のインデックスページ左側のナビゲーションから［**サードパーティリファレンス**］を選択します。「サードパーティソフトウェアのリファレンス」のインデックスページが表示されます。

サードパーティソフトウェアリファレンスのページ：インデックス

② 表示されているページからご利用になるSASのバージョンを選択します。たとえば、［SAS 9.1.3 Foundation（Service Pack 4）］のリンクを選択すると、「Service Pack 4を含むSAS 9.1.3 Foundationのためのサードパーティソフトウェア」のページが表示されます。

Service Pack4を含むSAS 9.1.3 Foundationのためのサードパーティソフトウェアのページ

このページでは、それぞれのプラットフォームの必要条件に合わせたJREをダウンロードしたり、BI Serverで利用するアプリケーションサーバーの適切なバージョンを調べたり、必要なパッチをダウンロードすることができます。また、アプリケーションサーバーのうち、BEA WebLogic ServerおよびIBM WebSphere Application Serverについては、このページからそれぞれのアプリケーションサーバーのインストールとWebアプリケーションの配置について説明したページへのリンクを用意しています。それらを参照するには、下記の手順でリンクを開いてください。

BEA WebLogic Server、IBM WebSphereのページへのリンク

『**BEA WebLogic ServerのインストールとSAS 9.1.3 SP2、SP3およびSPを使ったWebアプリケーションの配置**』のページを参照するには、「Service Pack4を含むSAS 9.1.3 Foundationのためのサードパーティソフトウェア」ページの「アプリケーションサーバー」の表のBEA WebLogic Serverの注意の欄にある「WebLogic ServerのインストールとWebアプリケーションの配置」というリンクをクリックします。

『**IBM WebSphere Application ServerのインストールSAS 9.1.3 SP2、SP3およびSP4を使ったWebアプリケーションの配置**』のページを参照するには、「Service Pack4を含むSAS 9.1.3 Foundationのためのサードパーティソフトウェア」ページの「アプリケーションサーバー」の表のWebSphereの注意の欄にある「IBM WebSphere Application ServerのインストールとWebアプリケーションの配置」というリンクをクリックします。

7. その他

各インストールキットのページでは、ドキュメントのタイトルの右側に日本語版の更新日付を記載しています。対応する英語版の更新日付は、ドキュメント名にカーソルを持っていくと表示されます。ドキュメントを参照される際には、更新日付をご確認ください。なお、本文中のインストールキットの説明は、2007年6月以降に出荷されたものに基づいた内容になっています。同梱されている印刷されたドキュメントなどが異なりますので、それ以前に出荷されたインストールキットをお持ちの方は、「SAS Technical News Spring 2007」の特集記事の該当部分を参照してください。

8. おわりに

今回の特集では、新しくなったインストールセンターをご紹介しました。インストールセンターは、随時更新しておりますので、今後もさまざまな場面でご活用いただければ幸いです。

特集2

日本語対応サーチボックスのご紹介

1. はじめに

テクニカルサポートのホームページでは、日頃、お客様から寄せられる質問の中から頻度の高いものを集めたFAQ、SASのインストールに必要なドキュメントを提供するインストールセンター、不具合を修正するHot fix（修正ファイル）など、さまざまな情報を提供しています。より多くのお客様に弊社のホームページを活用していただけるよう、この度、SAS Institute Japanのホームページに日本語対応のサーチボックスを設置しました。以下に、テクニカルサポートがホームページで提供するさまざまな情報を皆様がより活用いただけるよう、サーチボックスの利用方法をご紹介します。

2. サーチボックスの基本

今回設置されたサーチボックスをご利用いただくにあたり、基本的な検索方法について簡単にご紹介します。

2.1 英文字を使った検索の場合

サーチボックスでは大／小文字は区別されません。たとえばFREQプロシジャについて検索するために、「FREQ」、「Freq」、「FreQ」と入力しても同じ検索結果が表示されます。また全角・半角についても区別されません。つまり、全角「FREG」と半角「FREG」の検索では同じ結果が表示されます。したがって、英文字での検索ではスペルが同じであれば、大／小文字・全／半角どのように入力しても、同様の検索結果が表示されることになります。

2.2 日本語を使った検索の場合

カタカナを使った検索においても全角・半角は区別されません。たとえば、プロシジャというキーワードを全角「プロシジャ」と入力した場合も、半角「ﾌﾟﾛｼﾞｬ」と入力した場合も同じ検索結果が表示されます。

2.3 記号・数字を使った検索の場合

記号・数字を使った検索においても全角・半角は区別されません。たとえば、SAS9.1.3検索のために全角「9.1.3」と入力しても半角「9.1.3」と入力しても同じ検索結果が表示されます。

2.4 フレーズ検索

半角ダブルクォーテーション・マーク「"」で検索したい単語を囲むと、「"」で囲まれた言葉が文中に並んでいるページだけを検索します。たとえば、「enterprise guide」と入力して検索すると、これら2つの単語がどのような順番であっても、すべて含まれるページを検索結果として表示してしまいますが、「"enterprise guide"」と入力して検索することで、文中に入力したとおりの順番に「enterprise guide」と並んでいるページのみが検索結果として表示され、より的を絞った検索を行なうことができます。

3. サーチボックスの使用法

ここでは、例として「freqプロシジャ」という文字を検索してみます。

3.1 検索文字の入力

ホームページに設置されているサーチボックスに、検索したいキーワードを入力、プルダウンメニューからTechSupportを選択し、検索ボタンをクリックします。

図1. テクニカルサポートトップページ検索画面

図2. サーチボックス画面

図3. 検索結果画面

検索結果の画面（図3参照）では該当する件数が表示されます。その下に該当ページからキーワードが一致した部分を抜粋したテキストが表示され、該当するキーワードが黄色でハイライトされます。

3.2 検索範囲の変更

検索結果のページから検索の範囲を変更することができます。たとえば、現在“テクニカルサポートページからの検索”についている印を“日本語サイトからの検索”に変更し、SEARCHボタンをクリックします。検索対象がテクニカルサポートページからSAS Institute Japanのページ全体に変更され、検索結果の件数が32件→86件となりました。

図4. 検索範囲変更後の結果画面

その他、“本社サイトからの検索”を選択すると米国SAS社ホームページからの検索、“SASサイト全体からの検索”を選択すると、全世界のSASから検索することができます。

4. その他

サーチボックスは、SAS Institute Japanホームページのすべてのページに設置されており、検索対象はSAS Institute Japanのホームページに掲載されたPDFファイルなどを含むすべてのものです。このサーチボックスはUltraseekの検索エンジンを使用しています。検索の結果、期待していたページが表示されない場合や、さらに詳しい検索方法については、下記URLをご参照ください。

http://search.ultraseek.com/help/searchtips.html?la=ja

※なお、このエンジンは一部米国SAS社でカスタマイズしているため、若干の動作の差が発生する場合があります。

その他、検索エンジンに関してご質問・ご不明な点などございましたら、件名「検索エンジンに関して」として、JPN_SBOX@sas.comまでE-mailでお問い合わせください。

5. おわりに

本特集では、日本語対応サーチボックスをご紹介しました。この特集が少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

Q&A

- SASでNULL値を検索する方法
- CALL SYMPUT と CALL SYMPUTX の違い
- .（ドット）を文字変数の値として読み込む方法
- 文字変数から特定の文字を残す方法
- Enterprise Guide 4.1でのAdministratorアプリケーションについて
- グラフにおける信頼区間の表示について
- 切片項を含む非線形モデルの推定における統計量の表示について

Q **SQLではなく、DATAステップ内の構文の一部でNULL値を検索することはできますか。例えば、下記のような表現は可能でしょうか。**

```
if 変数名=null then delete;
```

A DATA ステップ内では、WHERE ステートメントでのみ IS NULL演算子を使用することができます。IF ステートメントではIS NULL演算子を使用することはできません。また DATA ステップにおけるNULL値とは、文字変数または数値変数の欠損値を意味します。

```
                                    /* サンプルデータ */
DATA test;
  INPUT x y $;
DATALINES;
. a
1 b
;

                          /* x=欠損値のデータのみ抽出 */
DATA _NULL_;
  SET test;
  WHERE x IS NULL;
  PUT x= y=;
RUN;
```

Q **SAS®9から CALL SYMPUTX というルーチンが追加されたようですが、これまでの CALL SYMPUT との違いを教えてください。**

A いくつかの動作上の違いがありますが、CALL SYMPUTX は2つの引数を左詰し、かつ後ブランクを削除する機能があります。CALL SYMPUT で同様の処理をするためには、LEFT関数で左詰し、かつTRIM関数などで後ブランクを削除する必要がありました。また、第2引数が数値の場合、CALL SYMPUTでは、数値を文字値に変換した旨のNOTEメッセージが出力されますが、CALL SYMPUTXではメッセージは出力されません。次のプログラムを実行して、各ルーチンの動作の違いをご確認ください。

```
DATA _NULL_;
  x=1;
  CALL SYMPUT("mvar1",x);        /* 右詰+前ブランク */
  CALL SYMPUT("mvar2",LEFT(x));  /* 左詰+後ブランク */
  CALL SYMPUT("mvar3",TRIM(LEFT(x)));
                              /* 左詰（ブランク無し） */
  CALL SYMPUTX("mvar4",x);  /* 左詰（ブランク無し） */
RUN;

%PUT >&mvar1<;
%PUT >&mvar2<;
%PUT >&mvar3<;
%PUT >&mvar4<;
```

Q **文字データに.（ドット）が含まれています。文字変数の値として読み込むにはどうしたらよいでしょうか。**

A $CHARインフォーマットを使用します。以下の例を参考にしてください。

```
DATA test2;
  INFILE CARDS DLM="," DSD MISSOVER;
  INPUT char1 $ char2 $;
  INFORMAT char1 $CHAR8.;
DATALINES;
AAA,BBB
.,DDD
EEE,FFF
,HHH
;
RUN;
```

Q **ある文字変数より、特定の文字列だけを残すことはできますか。**

A SAS 9.1.3より、COMPRESS関数の第3引数にパラメータ値を指定することが可能になりました。パラメータ値 K を指定することで特定の文字列のみを残すことができます。

例）

```
DATA sample;
  x='ABCDEFG';
  y=COMPRESS(x,'ADZ','k');
  PUT y;
RUN;
```

結果）

```
AD
```

Q 最新のSAS®9へ移行するにあたり、Enterprise Guide 4.1をインストールしたのですが、以前のリリースで利用していたAdministratorアプリケーションがインストールされません。詳細設定を行ないたいのですが、どのようにしたらよいでしょうか。

A Enterprise Guide 4.1からは、従来サーバー管理などのために付属していた"Administrator"アプリケーションは付属しておりません。その代わりに、SAS®9のOpen Metadata Repositoryへ対応した"SAS® Enterprise Guide Explorer"を利用することが可能です。SAS Enterprise Guide Explorerからは、以前のEnterprise Guideリポジトリも利用可能です。SAS Enterprise Guide Explorerの操作・利用方法の詳細は［Administering SAS Enterprise Guide］マニュアルで確認できます。

※次のアドレスで、PDF形式のマニュアルを入手可能です。
SAS Enterprise Guide Documentation
http://support.sas.com/documentation/onlinedoc/guide/

Q GPLOTプロシジャを用いて、平均値の推移を表示しています。この際、SYMBOLステートメントのINTERPOLATE＝オプション（I=オプション）の値としてSTDを用い、エラーバーの表示を行なっています。このエラーバーの長さを信頼区間とすることはできますか。

A INTERPOLATE=オプションにてSTDを指定している場合、エラーバーの長さを標準偏差（もしくは標準誤差）の2倍、3倍とすることができますが、1,2,3以外の値を指定することができません。このため、信頼区間を算出する際に用いる1.96などの値を指定することができません。しかしながら、事前にデータセットの加工を行ない、信頼区間の値を含むデータセットを作成しておくことにより、グラフの作成を行なうことができます。以下は、一つの例です。

```
          /* 必要となる統計量を算出、データセットに出力 */
PROC MEANS DATA=SASHELP.CLASS NWAY NOPRINT;
  CLASS SEX;
  VAR WEIGHT;
  OUTPUT OUT=out N=n MEAN=mean STDERR=stderr;
RUN;
                          /* データセットを加工 */
DATA OUT;
  SET OUT;
                            /* 平均の値を保持 */
  id=1;
    value=mean;  OUTPUT;
            /* 信頼区間の値を算出、データセットに出力 */
  id=2;
    value=mean-stderr*TINV(0.975,n-1); OUTPUT;
    value=mean+stderr*TINV(0.975,n-1); OUTPUT;
  KEEP SEX id value;
RUN;
                                    /* グラフの作成 */
AXIS1 OFFSET=(10PCT);

PROC GPLOT DATA=OUT;
  PLOT value*sex=id / HAXIS=AXIS1 NOLEGEND;
                              /* 変数IDの水準によって、
                     異なるSYMBOLステートメントを用いる */
  SYMBOL1 V=dot  I=join  C=red;
  SYMBOL2 V=none I=hilot C=black;
RUN;
QUIT;
```

Q 切片項を含む非線形モデルをNLINプロシジャにて推定していますが、以前のリリースとは異なり、'Uncorrected Total'の値が表示されていません。また、モデルに対する自由度、平方和、平均平方の値が異なっていますがなぜでしょうか。

A SAS®9以降では、モデルに切片項が含まれているかによって、'Corrected Total'（切片項を含む）、もしくは'Uncorrected Total'（切片項を含まない）のどちらかの値を表示するように変更されています。

※表示する統計量を指定、または両方を同時に表示するためのオプションはありません。

また、以前のリリースでは、切片項の有無にかかわらず、モデル（Regression項）に対する自由度、平方和、平均平方は、'Uncorrected Total'を用いて算出されていましたが、この点に関しても変更されています。SAS®9以降では、切片項が含まれている場合には、'Corrected Total'を用いてモデル（Model）に対する自由度、平方和、平均平方が算出されています。このため、SAS®9と以前のリリースでは、異なる値が計算、表示されていることになります。なお、F統計量の算出に関しては変更されておらず、以前のリリースより'Corrected Total'を用いた算出となっています。このため、F統計量およびp値は同じ式を用いて計算されています。

SAS Training

SASトレーニングのお知らせ

■特別トレーニングコースの開催のご案内

●「SASによる臨床試験データの統計解析【前編】」コース（2日間）

日　　程：2008年3月13日（木）～14日（金）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格：115,500円（税込）／チケット捺印数 2
受講対象：SASシステムによる臨床試験統計解析に従事している方（上級者）
前提知識：下記の4コースを受講済みか、同程度の知識のある方
・「医薬向け分散分析」
・「医薬向けカテゴリカルデータ解析1」
・「医薬向けカテゴリカルデータ解析2」
・「医薬向けSASによる生存時間解析」
学習内容：上記テキストは、新医薬品の臨床試験において頻繁に使用される統計解析について、その理論的側面よりもSASによる実際の解析手順、結果の解釈を主眼として書かれています。
【前編にて学習：2008年3月13日～14日開催】
1章では、予後因子を調整した解析（連続型、離散型、time-to-event型のエンドポイント）と治療―共変量の交互作用の検討について学習します。2章では、閉検定手順、再抽出に基づく多重比較と多重エンドポイントの解析について学習します。
【後編にて学習：2008年4月以降予定】
3章では、安全性・診断データにおける基準範囲の推定と比較について学習します。第4章では、群逐次デザインにおける解析（繰り返し有意差検定、エラー消費関数、確率的打ち切り検定）を種々のSASマクロプログラムを用いて学習します。
【特別編：リクエストに応じ開催予定】
第5章では、欠測データに対する高度な解析手法（尤度に基づく解析、多重補完法など）について学習します。
コンテンツ：【前編にて学習：2008年3月13日～14日開催】
1.Analysis of Stratified Data
2.Multiple Comparisons and Multiple Endpoints
【後編にて学習：2008年4月以降予定】
3.Analysis of Safety and Diagnostic Data
4.Interim Data Monitoring
【特別編：リクエストに応じ開催予定】
5.Analysis of Incomplete Data
テキスト：本コースは、下記英語版の書籍『Analysis of Clinical Trials Using SAS: A Practical Guide』（SAS Press）を使用し、日本語で説明を行ないます。また、テキストの内容を簡単にまとめた補助資料を用意します。
【注意】受講申込者は、トレーニング申し込みとは別に事前にご購入ください。（上記書籍をすでにお持ちの方は除きます。）購入方法は、下記『書籍購入方法』をご参照ください。
書籍購入方法：『Analysis of Clinical Trials Using SAS: A Practical Guide』（SAS Press）
注文番号：59390／価格：13,440円（本体価格：12,800円）
※別途発送手数料が1,050円かかります。
下記URLの注文用紙に必要事項をご記入のうえ、03-3533-3781までファックスでご注文ください。
http://www.sas.com/japan/manual/order.pdf
※注文用紙のお客様通信欄に『3/13～14トレーニング受講』とご記入ください。

■新規トレーニングコースの開催のご案内

●「SASからのMicrosoft Excelへのレポート出力」コース（1日間）

日　　程：2008年1月30日（水）、3月12（水）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格：57,750円（税込）／チケット捺印数 1
受講対象：SASデータテーブルやSASシステムのプロシジャ出力をMicrosoft Excelスプレッドシートに取り込んで、SASシステムとMicrosoft Excelの連携を行ないたい方
前提知識：「SASプログラミング I」を受講済みか、同程度の知識のある方
学習内容：このコースでは、SASのExcel LIBNAME エンジン、EXPORTプロシジャの基本や、ODS機能（Output Delivery System）を使用して、CSV、HTML,XMLファイルを作成し、Microsoft Excelで開く方法を学習します。需要の多いMicrosoft Excelのファイルに SASデータセットを変換したり、プロシジャ出力をExcelの形式に変換するためのテクニックについて学習します。また、整形済みのExcelのワークシートに対して、DDE通信、LIBNAMEエンジン、ODS、Excelマクロ（VBA）を使用した定型レポートへの出力方法をご提案いたします。
コンテンツ：■ はじめに
・コース概要
■ SASテーブルからのMicrosoft Excelファイルの作成
・EXPORTプロシジャの利用
・外部ファイルインターフェイスの利用（自己学習）
・Excel LIBNAMEエンジンの利用
■ ODSを使用したCSVファイルの作成
・ODS CSVおよびその他のCSVタグセットの利用
■ ODSを使用したMicrosoft ExcelのためのHTMLファイルの作成
・HTML3.2とHTML4.0ファイルの作成
・MSOFFICE2Kタグセットを使用したMicrosoft HTMLファイルの作成
・CSSを使用したスタイルや数値形式の変更（自己学習）
■ ODSを使用したMicrosoft Excelのためのタグセットの作成
・タグセットとイベント
・Templateプロシジャの利用
■ 他の方法でのMicrosoft Excelのためのファイルの作成（自己学習）
・その他作成方法
■ 特定セルへの結果の出力方法
・DDE通信
・リンクの利用
・LIBNAMEエンジンの利用
・Excelマクロの利用

●「SASによる回帰分析II」コース（2日間）

日　　程：2008年3月13日（木）～14日（金）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格：115,500円（税込）／チケット捺印数2
受講対象：発展的な回帰手法をSASで実現する方法を学ばれたいデータ解析者向け
前提知識：下記の2コースを受講済みか、同程度の知識のある方
・「SASによる統計解析 I」
・「SASによる回帰分析 I」
学習内容：このコースでは、SASを使用して多項式回帰モデルを行なう方法をご紹介します。また、ポアソン回帰モデル、ガンマ回帰モデル、非線形回帰モデル、また質的な説明変数を持つ線形回帰モデルなども扱います。
コンテンツ：■ 重回帰モデル
・線形重回帰モデルの復習
・多項式回帰モデルの構築と評価
・モデルの仮定に反した場合の扱い
■ 一般化線形モデル入門
・一般化線形モデルとは
・Poisson回帰
・ガンマ回帰
■ 非線形回帰モデル
・非線形回帰モデルとは
・非線形回帰モデルの当てはめ
■ 質的な説明変数を持つ回帰モデル

●「SAS® Data Integration Studio 処理の効率化」コース（2日間）

日　　程：2008年3月26日（水）～27日（木）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格：115,500円（税込）／チケット捺印数2
受講対象：データウェアハウスへのETL処理のパフォーマンスアップ、チューニングを行ないたい方
前提知識：下記2コースを受講済みか、同程度の知識のある方
・「SASプログラミング I」
・「SAS Data Integration Studioの活用」
下記コースを受講いただいていると、本コースの理解に役立ちます
・「SASマクロ言語入門」
学習内容：ETLプロセスのパフォーマンスアップ、チューニング、SAS® 9とSAS Data Integration Studioの機能をご紹介いたします。ETLフローの分析とデバッグ、効率化の方法、システム環境のセットアップ、カスタマイズした高度なパフォーマンスアップテクニックを学習します。
コンテンツ：■ ETLフローの効率調査
・SAS Intelligence Platformとは?
・SAS Data Integration Studio のコンセプト
・効率の追跡と測定
■ ETLパフォーマンスチューニングの基本
・中間ファイルに関連する処理
・ETLフローのビューと物理テーブル
・変換とカラムの最適化
■ データに関連する処理
・データクォリティの考察
・キー定義
・インデックス
・ロードテクニックの選択
・行のカウント
・SAS 日付関数
■ ソートとジョインに関連する処理
・集中するタスクプロセスの概要
・ソートパフォーマンスチューニング
・ジョインパフォーマンスの最適化
■ 高度なトピック
・ディメンジョンモデル
・RDBMS 処理の最適化
・環境のチューニング

●「SAS®管理コンソールの使用法 」コース（3日間）

日　　程：2008年3月31日（月）～4月2日（水）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格：173,250円（税込）／チケット捺印数3
受講対象：SASと関連するプラットフォームを管理される方
前提知識：※「ビジネスアナリストとシステム管理者のためのSASビジネス・インテリジェンス」コースを受講済みか、同程度の知識のある方
※ 2008年1月よりコース名が「SASビジネス・インテリジェンス／データ・インテグレーション・アプリケーション概要」に変更になります。
学習内容：本コースは、SAS® Intelligence Platformの概要を学習します。
・サーバー層、ウェブ層、データ層、クライアント層の構造
・SASサーバーの種類
・SASへアクセス可能なデータタイプの特定
・ウェブ層の構成の理解
・クライアントアプリケーションの機能
また、SAS管理コンソールの使用方法を学習します。
・メタデータマネージャプラグインによるメタデータサーバーの管理
・サーバーマネージャプラグインによるサーバーの管理
・ユーザーマネージャプラグインによるユーザーとグループの管理
・データライブラリマネージャプラグインによるライブラリとテーブルの管理
・BIマネージャプラグインによるBIオブジェクト
・権限マネージャプラグインによるメタデータセキュリティの管理
コンテンツ：■ SASインテリジェンス・プラットフォームの紹介
・SAS Intelligence Platform概要
・SASインテリジェンス・アーキテクチャ概要
・コースデータとケーススタディの紹介
■ サーバ層の概要
・SAS® Metadata Server
・SAS® Workspace Server
・SAS® Stored Process Server
・SAS® Foundation
・SAS® OLAP Server
・SAS プラットフォームスイート
■ データ層の概要
・データ層の紹介
・Scalable Performance Data ファイル
・SAS データセット
・SAS OLAP Cube
・RDBMS テーブル
・ERP、その他のデータソース
■ ウェブ層の概要
・ウェブ層の紹介
・SAS ウェブアプリケーションとJava
・WebDAV
■ クライアント層の概要
・クライアント層の紹介
・Java アプリケーション
・.NET アプリケーション

■ SAS 管理コンソールの概要
・SAS 管理コンソールの紹介
・SAS 管理コンソール プラグインの紹介
・ユーザーインターフェイスの紹介
・SAS 管理コンソールの動作環境
■ メタデータマネージャプラグイン
・メタデータマネージャプラグインの紹介
・メタデータサーバーの管理
・メタデータリポジトリの管理
■ サーバーマネージャプラグイン
・サーバーマネージャプラグインの紹介
・サーバーメタデータの管理
■ ユーザーマネージャプラグイン
・ユーザーマネージャプラグインの紹介
・サーバーメタデータの管理
・ユーザーの管理
・グループの管理
■ データライブラリマネージャプラグイン
・データライブラリマネージャプラグインの紹介
・SAS ライブラリとテーブルの管理
・データベースライブラリとテーブルの管理
■ BI マネージャプラグイン
・BI マネージャプラグインの紹介
・BI マネージャプラグインの探索
・ストアドプロセスメタデータの管理
・レポートメタデータの管理
・メタデータの運用
■ 権限マネージャプラグイン
・権限マネージャプラグインの紹介
・アクセスコントロールの管理

■臨時トレーニングコースの開催のご案内

●「多変量解析」コース（2日間）

日　　程: 2008年3月5日（水）～6日（木）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格: 115,500円（税込）／チケット捺印数2

●「ロジスティック回帰分析」コース（2日間）

日　　程: 2008年3月24日（月）～25日（火）10:00 ～ 17:00（東京会場）
価　　格: 115,500円（税込）／チケット捺印数2

上記2コースは、お客様のリクエストに応えて再び開催決定いたしました。
ご受講をご希望のお客様はこの機会をお見逃しなく!

■2008年度版トレーニングカタログのご案内

ただいま2008年度版トレーニングカタログをご希望のお客様へ郵送にてお送りするサービス（無料）を行なっております。ご希望のお客様は、住所、会社名、部署名、氏名を必ずご記入のうえ、弊社トレーニング担当宛にE-mailにてご連絡ください。

■2008年3月までのトレーニングスケジュール公開のご案内

現在弊社Webサイトにて、2008年3月までのトレーニングスケジュールを公開中です。新規コースや特別コースなど、新しいトレーニングが追加され、SASトレーニングがますます充実したラインナップとなりました。SAS Institute Japan株式会社では、今後も多岐にわたったトレーニングコースを追加していく予定です。コース内容・日程等の詳細は、順次弊社Webサイトに公開しますので、以下のURLをご参照ください。
http://www.sas.com/japan/training/

その他、トレーニングに関する情報については、上記のURLをご参照いただくか、下記トレーニング担当までお問い合わせください。

トレーニングに関するお問い合わせ先

- **T E L 03-3533-3835**
- **F A X 03-3533-3781**
- **E-mail JPNTraining@sas.com**

New Publications
新刊マニュアルのお知らせ

「Predictive Modeling with SAS® Enterprise Miner™ : Practical Solutions for Business Applications」
http://support.sas.com/publishing/bbu/companion_site/58519.html
予測モデリングに関心を持っている大学院生、SAS Enterprise Minerにあまり慣れていないデータマイニングのエキスパート、またはSAS Enterprise Minerを利用した予測モデリングへの手引きを必要としているビジネスアナリスト向けのマニュアルです。SAS Enterprise Minerのプロジェクトのテンプレート、SASコードを収めたCDが付いています。
こちらより内容の一部をご覧いただけます。
http://support.sas.com/publishing/pubcat/chaps/58519.pdf
注文番号: 58519
価　　格: 12,495円（本体価格:11,900円）

「Analyzing Receiver Operating Characteristic Curves with SAS®」
http://support.sas.com/publishing/bbu/companion_site/60610.html
ROC曲線を作成するために適したさまざまなSASプロシジャの使用方法をご紹介したマニュアルです。
こちらより内容の一部をご覧いただけます。
http://support.sas.com/publishing/pubcat/chaps/60610.pdf
注文番号: 60610
価　　格: 6,195円（本体価格:5,900円）

「SAS® Programming for Enterprise Guide® Users」
http://support.sas.com/publishing/bbu/companion_site/61179.html
SASコードを利用してSAS Enterprise Guideをさらに有効に使用する方法について解説しています。インターフェイスからでは直接アクセスできないテクニックをご紹介しています。
こちらより内容の一部をご覧いただけます。
http://support.sas.com/publishing/pubcat/chaps/61179.pdf
注文番号: 61179
価　　格: 8,295円（本体価格:7,900円）

SASマニュアル申込用紙および最新のPublication Catalog（マニュアル案内パンフレット）は弊社ホームページにて公開しておりますので、併せてご利用ください。
http://www.sas.com/japan/manual/

マニュアルに関するお問い合わせ先

- TEL 03-3533-3835
- FAX 03-3533-3781
- E-mail JPNBooksale@sas.com

Latest Releases
最新リリース情報

■PCプラットフォーム

Windows版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
64-bit Windows（Itanium）版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3

■UNIXプラットフォーム

Tru64版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
SunOS/Solaris版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
HP-UX版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
HP-UX（Itanium）版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
AIX版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
Linux（Intel）版	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
ABI+版	SAS 6.11	TS040

■ミニコンピュータプラットフォーム

OpenVMS AXP版	SAS 6.12	TS020
OpenVMS VAX版	SAS 6.08	TS407

■メインフレームプラットフォーム

IBM版（OS/390, z/OS）	SAS 9.1.3	9.1 TS1M3
富士通版（F4, MSP）	SAS 6.09E	TS470
日立版（VOS3）	SAS 6.09E	TS470
CMS版	SAS 6.08	TS410

Information
SAS Technical News 送付についてのご案内

SAS Technical Newsは次の方を対象にお送りしています。

・SASコンサルタントとしてご登録の方
・SAS Technical Newsの購読をお申し込みいただいている方

今後SAS Technical News購読が不要の方、配信先の変更等をご希望の方は、下記URLよりお手続きください。

配信停止
http://www.sas.com/japan/corporate/material.html

配信先変更手続き
http://www.sas.com/japan/sasj_privacy.html#inquiry

SAS Technical News
Winter 2008
発行
SAS Institute Japan株式会社

テクニカルニュースに関するお問い合わせ先
テクニカルサポートグループ
TEL:03-3533-3877
FAX:03-3533-3781

東京本社
〒104-0054
東京都中央区勝どき1-13-1
イヌイビル・カチドキ
Tel 03 (3533) 6921
Fax 03 (3533) 6927

大阪支店
〒530-0004
大阪市北区堂島浜1-4-16
アクア堂島西館 12F
Tel 06 (6345) 5700
Fax 06 (6345) 5655

SAS Institute Japan株式会社　www.sas.com/japan/

このカタログに記載された内容は改良のため、予告なく仕様・性能を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
SASロゴ、The Power to Knowは米国SAS Institute Inc.の登録商標です。その他記載のブランド、商品名は、一般に各社の登録商標です。Copyright©2007, SAS Institute Inc. All rights reserved.